

大阪・関西万博の最新の動向

令和5年7月

内閣官房

経済産業省

1. 大阪・関西万博の概要

(1) テーマ・コンセプト

テーマ : いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

コンセプト : 未来社会の実験場

(2) 開催場所 : 夢洲 (大阪市臨海部)

(3) 開催期間 :

2025年4月13日 ~ 10月13日 (184日間)



【会場鳥瞰図】



名称

◆日本語 (正式) : 2025年日本国際博覧会
同 (略称) : 大阪・関西万博

これまでの取組・今後のスケジュール

【2016年】 12月22日 : 万博誘致の関係省庁連絡会議の発足

【2017年】 4月7日 : 万博誘致の立候補 (閣議了解)

【2018年】 11月23日 : 誘致決定

【2019年】 12月20日 : 登録申請書の提出に係る閣議決定

【2020年】

9月16日 : 万博特措法施行

(国際博覧会担当大臣の任命、内閣に推進本部設置)

12月1日 : BIE総会 (開催計画承認、参加招請の開始)

12月21日 : 基本方針の閣議決定

【2021年】

8月27日 : インフラ整備計画の決定 (万博推進本部決定)

12月24日 : アクションプランの決定 (万博推進本部決定)

10月~2022年3月 : ドバイ万博

【2022年】

6月10日 : アクションプランVer.2の決定 (万博推進本部決定)

7月18日 : 1000日前イベント (東京・大阪で開催)

12月20日 : アクションプランVer.3の決定 (万博推進本部決定)

【2023年】

4月13日 : 起工式・会場内パビリオン建築工事開始

6月30日 : アクションプランVer.4の決定 (万博推進本部決定)

年内 (P) : 前売り入場券販売開始

2. 大阪・関西万博の意義

いのち輝く未来社会へ

- 新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の、新たな時代に向け、世界が一つとなることに意義があり、いのち輝く未来社会のありようを共有することは2025年以後の世界の新たな一歩となる。

SDGs達成・SDGs+beyondへの飛躍の機会

- SDGs達成に向けたこれまでの進捗状況を確認し、その達成に向けた取組を加速させる絶好の機会とする。
- 中長期的な視野を持って未来社会を考えることを通じて、2030年のSDGs達成にとどまらず、その先(+beyond)に向けた姿を示す。

Society5.0実現に向けた実証の機会

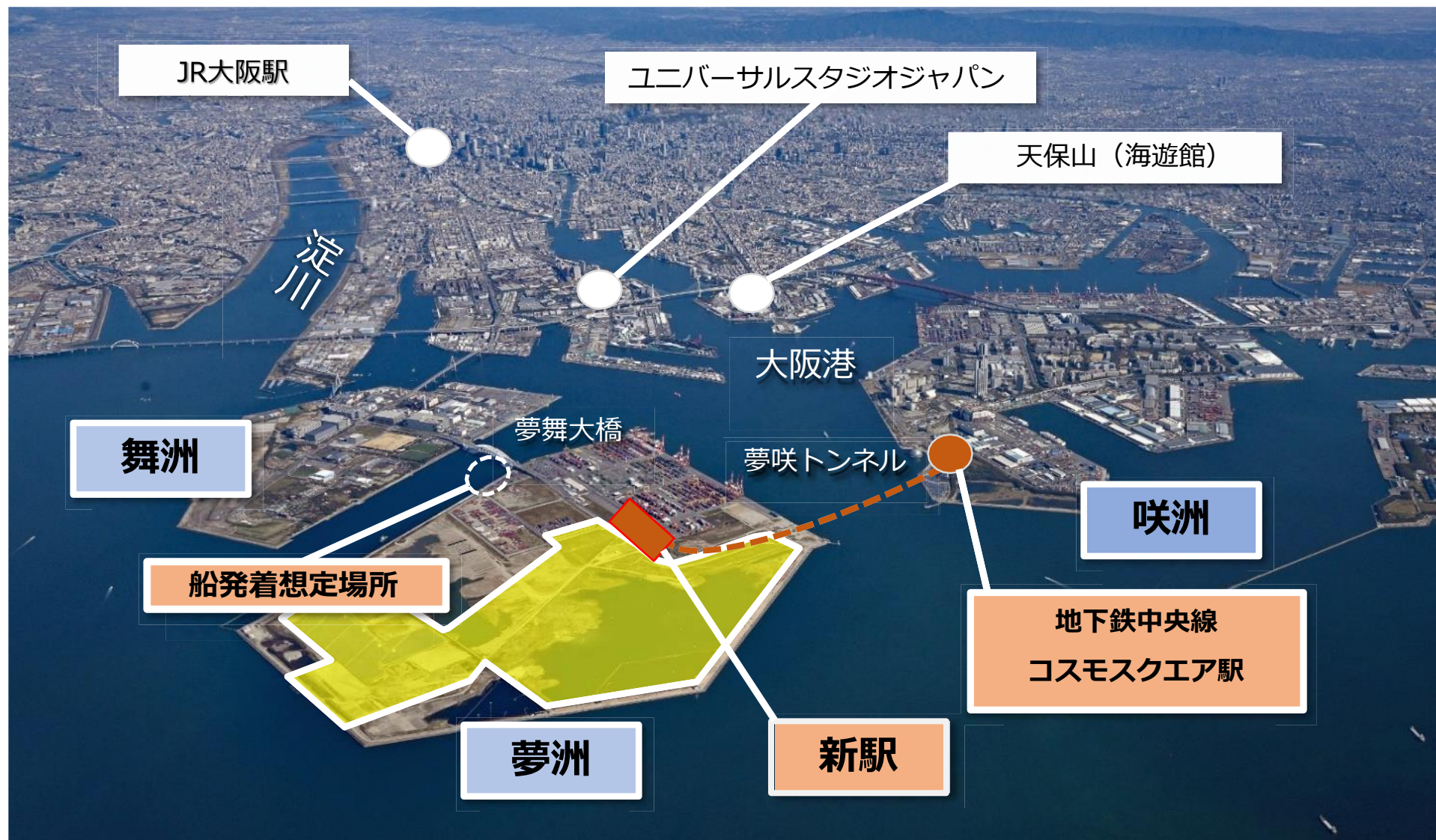
- 会場全体を未来社会を先取りした超スマート会場とし、新たな技術、サービス及びシステムの社会実装に向けた「未来社会の実験場」とする。

日本の飛躍の契機に

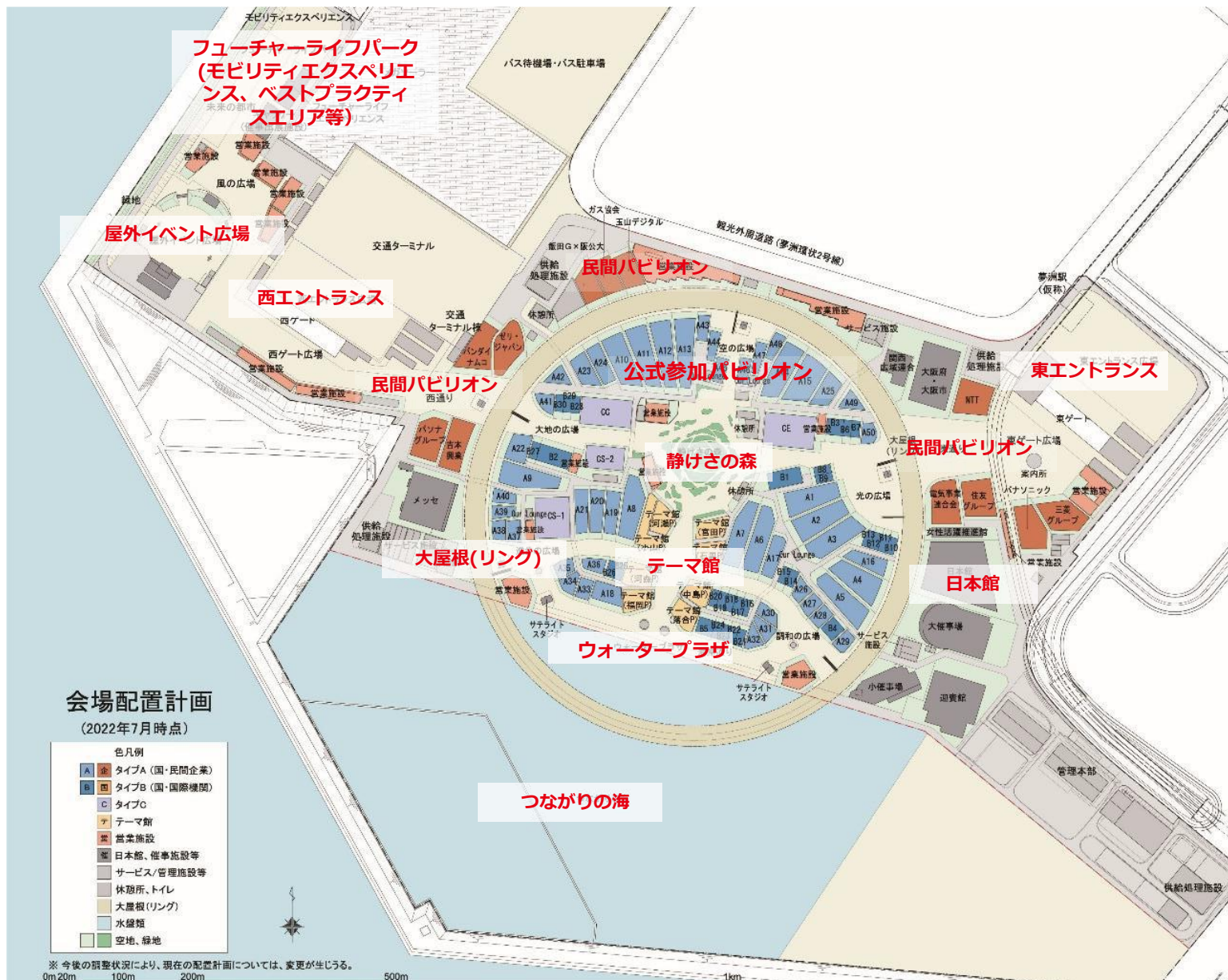
- 万博会場において、DX(デジタルトランスフォーメーション)による社会変革の新たな形や、地球環境問題への新たな挑戦の形を世界に示す。
- 経済、社会、文化等あらゆる面において、大阪・関西のみならず、日本全体にとって更なる飛躍の契機とする。

※ DX(デジタルトランスフォーメーション)：将来の成長等のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

3. 大阪・関西万博会場の周辺地図



4. 会場レイアウト



5. 大屋根（リング）の新パース図

※2022年7月13日に公開

会場パース図（夕景）



リンググラウンドウォーク内観（昼景）



リング外観



リングスカイウォーク（昼景）



【参考】大阪・関西万博 フライスルー（会場イメージ）動画（2022年10月公開）

<https://www.youtube.com/watch?v=Wq7ravMwEyo>

6. 2025年大阪・関西万博のパビリオン展示について

- パビリオン展示は、「①公式参加者パビリオン」、「②テーマ事業パビリオン」、「③日本政府館」、「④自治体館」、「⑤企業パビリオン」の5種類。

① 公式参加パビリオン

- ✓ 万博に参加する各国政府・国際機関が企画するパビリオン

② テーマ事業パビリオン

- ✓ 8人のテーマプロデューサーが企画するパビリオン
- ✓ 「いのち」に関連するテーマをそれぞれ設定し、企画

③ 日本政府館

- ✓ 日本政府（経産省）が企画するパビリオン
- ✓ 「いのちと、いのちの、あいだに」のテーマの下、企画を検討中

④ 自治体館

- ✓ 自治体等が企画するパビリオン
- ✓ 大阪府・市が「大阪館」、関西広域連合が「関西パビリオン」を出展予定

⑤ 企業パビリオン

- ✓ 民間企業等が自由に企画するパビリオン
- ✓ 万博の「華」となるパビリオン

《各パビリオンの配置案》



7. 各国への参加招請活動

目標：150か国、25国際機関（愛知博は、121か国、4国際機関が参加）

現状：153の国・地域、8国際機関（2023年3月24日時点公表ベース）

- ◆ 主要国（G7）はすべて参加表明済み。
- ◆ 目標達成に向けて、今後ともあらゆる機会を捉えて政府一丸となって精力的に進めていく必要。

（参考）愛知万博（2005年3月25日～9月25日）との参加表明状況の比較。

最終的な参加国等：121か国4国際機関

- 開幕3年前 24か国
- 開幕2年前 70か国
- 開幕1年前 119か国

7. 各国への参加招請活動

【参加表明した国・地域（153）及び国際機関（8）】

（2023年3月24日時点）

■アジア(19か国)：

インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、韓国、中国、ネパール、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、ブータン、ブルネイ、フィリピン、マレーシア、モンゴル、ラオス

■米州(24か国)：

米国、アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、スリナム、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントクリストファー・ネービス、セントルシア、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ハイチ、パナマ、パラグアイ、ブラジル、ボリビア、ホンジュラス、ベリーズ、ペルー、メキシコ

■欧州(39か国)：

アイルランド、アゼルバイジャン、アルメニア、イタリア、ウズベキスタン、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、北マケドニア、ギリシャ、キルギス、コソボ、スイス、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、ドイツ、トルクメニスタン、バチカン、ハンガリー、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マルタ、モナコ、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア

■中東（12か国及び1地域）：

アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、トルコ、バーレーン、ヨルダン、パレスチナ

■アフリカ(45か国)：

アルジェリア、アンゴラ、ウガンダ、エジプト、エスワティニ、エチオピア、ガーナ、ガボン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、ジブチ、ジンバブエ、スーダン、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、南スーダン、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト

■大洋州(13か国)：

オーストラリア、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア連邦

■国際機関（8機関）：

アフリカ開発委員会(AUC)、イーター国際核融合エネルギー機構(ITER)、欧州連合(EU)、国際赤十字・赤新月運動、国際連合(UN)、太平洋諸島フォーラム(PIF)事務局、太陽に関する国際的な同盟(ISA)、東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局

8. テーマ事業のコンセプト・展示イメージ

- 2022年4月18日に実施した3年前イベントにおいて、テーマ事業の概要を発表。

 © LESLIE KEE	いのちを守る プロデューサー 河瀬 直美 映画作家 いのちのあかし コンセプト わたしのなかのあなた、 あなたのなかのわたしに出会う場所	展示イメージ 	いのちを響き合わせる プロデューサー 宮田 裕章 慶応義塾大学教授 Co-being コンセプト Better Co-being	体験イメージ 	
	いのちをつむぐ プロデューサー 小山 薫堂 放送作家、京都芸術大学副学長 EARTH MART コンセプト 「食」と「いのち」にまつわる当たり前を リセットし、ひとりひとりの行動を変える ヒントにあふれた市場	体験イメージ 	いのちを拡げる プロデューサー 石黒 浩 大阪大学教授、ATR石黒特別研究所客員所長 いのちの未来 コンセプト 技術と融合することにより、 いのちの可能性を拡げる	体験イメージ 	
	いのちを育む プロデューサー 河森 正治 アニメーション監督、メカニックデザイナー いのちめぐる冒険 コンセプト 今、ここに共に生きる奇跡	体験イメージ 	いのちを高める プロデューサー 中島 さち子 音楽家、数学研究者、STEAM教育家 いのちの遊び場 クラゲ館 コンセプト STEAM わくわく！を探す旅へ	体験イメージ 	
	いのちを知る プロデューサー 福岡 伸一 生物学者、青山学院大学教授 いのち動的平衡館 コンセプト 利己から利他へ	体験イメージ 	いのちを磨く プロデューサー 落合 陽一 メディアアーティスト null² コンセプト デジタルヒューマンという新しい身体の写し鏡、 変形構造体建築による新しい風景の鏡、 デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて 磨き輝く命の形を示す	体験イメージ 	 © 堀川実希

9. 企業パビリオンについて

- 2022年2月10日に、博覧会協会において、事務総長による記者会見を行い、企業パビリオン出展者名を公表。
- 2022年5月30日に各団体の代表者（社長級）から、パビリオン構想を発表。

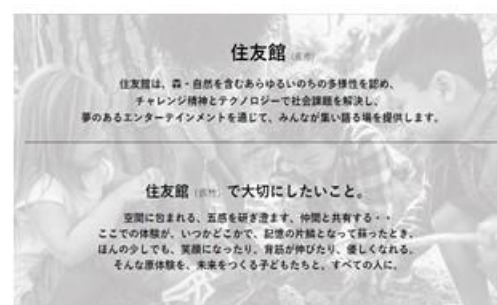
<NTT>



<電気事業連合会>



<住友グループ>



<パナソニック>



<三菱グループ>



<吉本興業>



<パソナグループ>



<ゼリ・ジャパン>



<バンダイナムコ>



<玉山デジタルテック>

初志・創新



<日本ガス協会>



<飯田グループホールディングス>



<大阪外食産業協会>



10－1．日本館（日本政府館）

- 日本館基本計画（令和4年3月策定）に基づき、「次のいのちへのリレー」という日本館コンセプトを体现する円環状のパビリオンを設計。本年1月24日に建築工事の公告を開始。
- 「日本らしさ」の設計として、例えば、①中心を吹き抜けとし、建物内外の境界をあいまいにすることで、外部・自然とのつながりを表現するとともに、②壁・床面に木材や土を織り交ぜた素材を利用。
- 循環の観点から、内外壁に使用する国産CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）について、会期後に地方自治体や事業者が再利用するスキームを検討。

<日本館の外観イメージ>



<2025年大阪・関西万博 政府出展事業検討会議 委員>

氏名（敬称略）	役 職 等
池坊 専好	華道家元池坊次期家元、大阪・関西万博シニアアドバイザー等
古賀 信行	（一社）日本経済団体連合会 顧問（前審議員会議長）
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa（オイラ）代表取締役
佐藤 オオキ	デザインオフィスnendo代表 日本館総合プロデューサー 東京オリパラ聖火台のデザインやミラノ万博の日本館ギャラリーを手掛ける
塩瀬 隆之	京都大学総合博物館 准教授
千 宗室	茶道裏千家家元、大阪・関西万博シニアアドバイザー
鳥井 信吾（座長）	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長 等
米良 はるか	READYFOR株式会社 代表取締役CEO



10-2. 日本館の基本計画

● 目指す来場者体験

テーマ： いのちと、いのちの、あいだに - Between Lives -

- 来場者自らが、他のいのちとのつながりや循環の中で生かされている存在であり、地球といういのちの束の一部であることに気づく機会を提供。
- 地球で起こっている持続可能性の問題を「自分たちのこと」として認識し、「炭素中立型の経済社会」や「循環型社会」といった未来社会の実現に向けたアクションを促す。

● 展示のコンセプト

（１）循環（いのちのつながり）の体験

○ 日本館において一つの循環を創出し、象徴的な来場者体験を提供。

- 二酸化炭素や廃棄物を循環に戻していく技術・仕組みを実装。
その結果、生み出されたものを来場者が食する等の体験を提供。

例：万博会場から出される生ゴミを利用したバイオガス発電、
カーボンリサイクル技術の活用、
バイオガス発電による電力を利用した藻類の栽培、
藻類等を加工し、来場者が食する等の機会を提供

（期待される効果）

- ✓ 二酸化炭素や廃棄物にも新たな活用方法・役割があるという認識の変化。
- ✓ 発展的に循環のサイクルをつないでいくことで持続可能で豊かな未来社会を構築していく可能性への気づき。

（２）循環とともにある社会の実現に向けた要素の展示体験

○ 日本文化や技術、日本的な発想を手がかりに、以下の3つの要素に着目した展示体験を提供。

① 循環を見据えたものづくり

例：長く使い次に再生しやすく作るための考え方・技術の提示
（着物を最後まで使い切る工夫 等）。

② はかなく小さな生き物

例：石油代替等の分野で期待される微生物の活用の提示
（発酵文化、微生物の活動の可視化 等）。

③ 次のいのちへのリレー

例：日本文化の発展・継承（式年遷宮、伝統芸能 等）を振り返りつつ、
私たちがいかに知恵や社会を発展させ次世代に伝えていくかの問いかけ。

（期待される効果）

- ✓ 持続可能で豊かな未来に向けた気づきを得た来場者が、それぞれに具体的な行動を起こしていく。

11. 大阪館（大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn）について



産学官民が連携・協力し、オール大阪で出展

コンテンツイメージ図（一例）

都市移動用のモビリティ

ミライの医療

ミライの大阪の食・文化

名称に込めた想い

- ▶ 外観デザインから着想を得て、**新しいものを生み出す「巣(Nest)」**であることを表現。
 - ▶ 大阪パビリオンのテーマである「REBORN」を実現するための「巣」として、未来の大阪の可能性を感じることができる展示をめざす。
- ★内部空間は自然光がこぼれ落ち、風を感じ、屋根を流れる水がまるで水の中にいるような幻想的な空間を演出。
光・風・水に包まれた環境共生建築を体験できる。

出展参加のテーマ：REBORN

- ▶ “「人」は生まれ変わる”、“新たな一歩を踏み出す”という意味をテーマに込めている。

展示ストーリー：ミライの都市生活

- ▶ 未来の大阪の可能性を感じることができる展示を実現させるため、展示全体に「ミライの都市生活」というストーリーを設定し、2050年頃の実現が想定されるミライ都市を描く。

展示構成：来館者のニーズに合わせた体験

- ▶ 来館者のニーズに合わせた体験が選択できるようコンテンツを検討し、子どもから大人まで楽しめるパビリオンをめざす。



12. ウーマンズパビリオン

- 大阪・関西万博において、世界における女性活躍の状況に係る情報発信を目的として、内閣府男女共同参画局及び経済産業省が連携し、ウーマンズパビリオンを出展予定。
- 日本国際博覧会協会が出展参加者を公募。同協会の審査委員会（座長・池坊専好）による審査を経て、リシュモンジャパン株式会社カルティエに決定し、昨年9月26日に公表。
※ カルティエは、スイスに拠点を有するリシュモングループが保有するブランドの一つ。
2020年ドバイ万博でも女性館を出展。
- 本年3月8日、同館の名称「Women's Pavilion（ウーマンズパビリオン）」及び基本構想を公表。コンセプトは、「When women thrive, humanity thrives ～ともに生き、ともに輝く未来へ～」。



ドバイ万博日本館の設計を行った永山祐子氏が建築を担当。
同館で使用されたファサードを再利用。

13. 未来社会ショーケース事業

- 2025年の万博にふさわしい、未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証を検討中。

未来社会ショーケース事業

スマート モビリティ万博	・ 会場アクセスバス ・ 会場内・外周バス ・ 会場内パーソナルモビリティ ・ ロボット（会場サービス） ・ 空飛ぶクルマ 等	アート万博	・ ウォータープラザ水上ショー ・ 大屋根プロジェクションマッピング ・ 静けさの森インスタレーション ・ パブリックアート ・ パレード 等
デジタル万博	・ 来場者向けパーソナルエージェント、XR案内 ・ 自動翻訳システム ・ 高速大容量通信環境 ・ 大型映像、サイネージ ・ プロジェクションシステム 等	グリーン万博	・ DAC+CCS、メタネーションガス ・ 水素発電、純水素型燃料電池 ・ アンモニア発電 ・ CO2吸収路面素材 ・ 次世代太陽電池 ・ 帯水層蓄熱 等
バーチャル万博	・ バーチャル会場 ・ XR演出 ・ EXPO共創事業 等	フューチャー ライフ万博 フューチャーライフパークを拠点に、様々なアイデアを実装するインキュベーション型事業	・ 未来の都市、住宅、環境、交通、文化（フューチャーライフパーク） ・ 未来のヘルスケア（健康医療等データ利活用、医療機器・福祉用具 等） ・ 未来の食、農業（フードテック、自動化、食文化 等） ・ 未来への行動（TEAM EXPO 2025ベストプラクティス展示）

(参考) 未来社会ショーケース事業の例

大阪・関西万博バーチャル会場



提供：NTT

- オンライン空間上に夢洲会場を3DCGで再現したバーチャル会場を用意し、AR（拡張現実）やVR（仮想現実）等のバーチャル技術を活用したリアルとバーチャルが相互に連動する様々な取り組みを展開予定。
- 実際に会場に来たくても来ることができない方々が参加できる、インクルーシブな万博を実現する事業。
- NTTドコモを中心としたNTTグループのテクノロジーと知見を活用予定。

来場者移動EVバス



提供：関西電力・Osaka Metro

- 大勢の万博来場者の移動を、よりスマートに、よりクリーンに実現するために、会場アクセスバス・会場内・外周バスに、EV（電気）バス100台を導入予定。
- 自動運転レベル4での運行や走行中給電などの新技術を融合させ、世界でも類を見ない大規模な実証を行う。
- 関西電力、大阪市高速電気軌道（Osaka Metro）、ダイヘン、大林組の4社のノウハウと技術を生かして実施予定。

(参考) 未来社会ショーケース事業の例

- 2023年2月21日、「未来社会ショーケース事業出展」参加企業記者発表会にて、運航事業者4者(ANAホールディングス&Joby Aviation、日本航空、丸紅、SkyDrive)の選定と、会場内ポートの協賛者としてオリックスを発表。
- 岡田万博担当大臣出席の下、各社代表にご参加頂き発表会を開催。

【使用機体】

ANAHD/Joby



提供 : Joby Aviation

日本航空 (Volocopter)



提供 : Volocopter



©Expo 2025

丸紅 (Vertical)



提供 : 丸紅

SkyDrive (自社製造)



提供 : SkyDrive

「未来社会の実験場」の具体化 ; 「アクションプラン」の改訂概要

- 2023年6月30日に「2025年大阪・関西万博アクションプラン Ver.4」を策定。
①モビリティ、②エネルギー・環境、③デジタル、④健康・医療（ライフサイエンス）、
⑤観光・食・文化・教育・スポーツ、⑥科学技術、⑦その他の分野別に、内容、主体及び工程表を規定。
- 今回の改訂(4回目)により、全体で**10施策を追加（経産省は3施策）**し、**登録施策数を93（経産省は33施策）に拡充**。加えて、大阪・関西万博の開催に向けて、各施策の更なる具体化を実施。

《経産省の主な施策例》

○空飛ぶクルマ

- ・万博で遊覧飛行や二地点間移動等を目指す



○自動運転の推進

- ・会場内でEVバスの自動走行を実証

会場内EVバス運行イメージ



会場へのバス運行イメージ



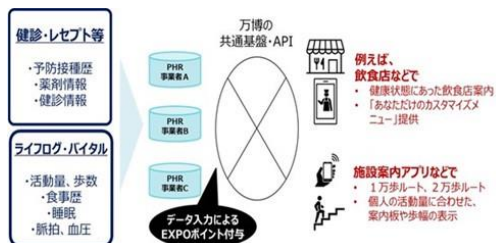
○水素・アンモニア発電

- ・水素・アンモニア発電で電力供給を目指す



○OPHRの活用

- ・万博会場で、PHRを実証。
- ・個人の健康状態に即しカスタマイズされたサービス体験の提供を目指す。



○福島復興の発信

- ・未来社会に向けて最新技術を活用した被災地の創造的復興、そして食・芸術・伝統等の発信



○中小企業/スタートアップのPR

- ・未来志向の中小企業の製品やテクノロジーを発信。
- ・グローバルのスタートアップ関連プレイヤーの呼び込みを目指したカンファレンスを実施。



No.1 最先端のモビリティ技術の社会実装

①大阪・関西万博における空飛ぶクルマの実現

(経済産業、国土交通省)

- ✓ 大阪・関西万博において、遊覧飛行や二地点間移動など、空飛ぶクルマの活用と事業化を目指す。

②自動運転の一層の推進

(デジタル庁、国土交通省、警察庁、総務省、経済産業省)

③日本の EV バスの技術・ノウハウ発信【環境、国交】

④MaaSの推進 (国土交通省)

No.2 カーボンニュートラルに資するエネルギー・環境関連技術の実証

①水素発電技術の実証 (経済産業省)

- ✓ ガスタービンによる大規模な水素発電による万博会場への電力供給を目指し、世界に広く発信。

②アンモニア発電技術の実証 (経済産業省)

- ✓ 2MW級ガスタービンによるサイト実証試験を実施し、万博会場の電力の脱炭素化を行う

③合成燃料 (e-fuel) の活用拡大 (経済産業省)

④再エネ水素を使ったメタネーション実証 (環境省)

⑤次世代船舶を活用した海上観光の実現

(経済産業省、国土交通省)

⑥次世代型太陽電池の開発推進 (経済産業省)

⑦CO₂の分離・回収技術の実証 (経済産業省)

⑧CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの実証 (経済産業省)

⑨2030年度までに前倒しでカーボンニュートラルの達成を目指す脱炭素先行地域の実現 (環境省)

⑩次世代グリーンデータセンター技術の発信 (経済産業省)

⑪資源循環に関する実証・展示 (経済産業省)

⑫循環に関する展示体験 (日本館) (経済産業省)

⑬サーキュラーエコノミー及び大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現 (環境省)

⑭バイオマス由来の生分解性容器等の循環処理・資源化に関する実証 (経済産業省)

⑮行動変容を促す資源循環のナッジ実証 (経済産業省)

⑯食品ロス削減の普及啓発 (消費者庁)

⑰食品ロス削減に向けた啓発、食品リサイクルループの形成 (農林水産省)

⑱「ウッドチェンジ」の発信 (林野庁)

⑲万博を契機としたCLT活用のさらなる推進 (内閣官房・農林水産省・国土交通省・環境省)

⑳核融合エネルギーに関する展示 (文部科学省)

No.3 デジタル技術を駆使した展示・発信

- ①多言語翻訳技術の高度化（総務省）
- ②Beyond 5G ready ショーケースの実現（総務省）
- ③地域データの可視化によるデータ連携・データ利活用の推進
（内閣府）
- ④デジタル田園都市国家構想に関連するデジタル実装モデルの
海外発信・展開（内閣官房）
- ⑤デジタルライフラインによるSociety5.0 の実現
（経済産業省）



- ⑥量子技術が切り拓く未来社会
（内閣府・総務省・文部科学省経済産業省）
 - ✓ 万博期間中に量子技術の社会実装に向けた理解促進のための
情報発信イベントを開催。
- ⑦大阪・関西万博と連携したeスポーツの発信（経済産業省）
- ⑧デジタル学園祭&未来創造コンテスト（仮称）（経済産業省）
- ⑨サイバー/フィジカル融合による新たな感覚体験の提供
（国土交通省）
- ⑩視覚障害者向け自律型誘導ロボット「AI スーツケース」
の実証（文部科学省）

No.4 健康・医療（ライフサイエンス）分野の高度な技術・サービスの発信

- ①再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信（厚生労働省）
- ②医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業の
採択者による体験コーナー（経済産業省）
 - ✓ 自動運転機能を備えた電動車椅子
を施設観覧に用いることで検討中
- ③日本の先進的な医薬品等の情報発信（厚生労働省）
- ④障害者自立支援機器等開発促進（厚生労働省）
- ⑤優良なアイデア・事業の審査への参画（ヘルスケアビジネスコンテ
ストの開催）（経済産業省）



- ⑥Personal Health Record（PHR）を活用した万博体験
（経済産業省）
 - ✓ 個人の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験の
提供等を検討
- ⑦介護ロボット等テクノロジーの普及（厚生労働省）
- ⑧スマート・ライフ・プロジェクト～健康寿命を延ばそう！～
（厚生労働省）
- ⑨認知症バリアフリーの取組推進（厚生労働省）
- ⑩ユニバーサルヘルスカバレッジって大事だね！（厚生労働省）

No5 観光・食・文化・教育・スポーツ

- ①大阪・関西万博を契機とした全国への誘客促進
(内閣官房、観光庁、国土交通省)
- ②日本の国立公園の魅力発信 (国立公園満喫プロジェクト)
(環境省)
- ③**未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や食文化の
情報発信 (経済産業省・復興庁)**
 - ✓被災地の復興状況や食の取組の効果的な展示・催事や、会場と被災地を繋ぐツアーを実施
- ④日本の食文化・農泊体験・ジビエの発信 (農林水産省)
- ⑤日本の食文化の発信 (文化庁)
- ⑥日本産酒類の情報発信 (国税庁)
- ⑦「日本博2.0」の展開 (文化庁)
- ⑧クールジャパンの総力を結集した機運の醸成
(内閣府知的財産戦略推進事務局)
- ⑨**日本の工芸品・和楽器の対外発信 (経済産業省)**
 - ✓伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示等を実施
- ⑩**日本の新たな才能を万博～映像マーケットを通して発掘し世界
に発信するプロジェクト (経済産業省)**
- ⑪**映像・芸術文化が形作る被災地の魅力ある未来社会に向けた発
信 (経済産業省)**
- ⑫アイヌ文化の対外発信 (内閣官房)
- ⑬スポーツの新たな価値の創造等による多様性・可能性の
追求 (スポーツ庁)
- ⑭「Sport in Life」の推進と障害者スポーツの振興
(スポーツ庁)
- ⑮大阪・関西万博への修学旅行に係る情報発信について
(文部科学省)
- ⑯2025年大阪・関西万博に関する教育プログラムの周知
(文部科学省)
- ⑰万博国際交流プログラム (内閣官房)
- ⑱日本の建築文化 (文部科学省)
- ⑲**日本のアート発信とアートを起点とした相互交流
(経済産業省)**
- ⑳**関西発「ワザ」と「コンテンツ」の未来体感
フェスティバル (経済産業省)**
- ㉑花き園芸文化を通じた2027年国際園芸博覧会の情報
発信 (農林水産省・国土交通省)

No6 最先端の科学技術の社会実装・実現

- ①情報統合研究事業 ガーディアンロボット（次世代ロボットの研究開発）（文部科学省）
- ②自動配送ロボットによる配送サービスの提供（経済産業省）
- ③ロボットフレンドリーな環境の実現（経済産業省）
- ④宇宙を通じて、いのちを感じる（内閣府・文部科学省）
- ⑤海洋関係の取組発信（内閣府）
- ⑥防災DXを活用した災害・対応情報の提供（文部科学省）
- ⑦リモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発（総務省）
- ⑧熱中症や高潮の高解像度物理シミュレーションによる早期の情報提供（国土交通省）
- ⑨各種警察活動における小型無人機の更なる活用等に向けた検討・調整（警察庁）
- ⑩ムーンショット型研究開発制度（内閣府）
- ⑪戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（内閣府）
- ⑫「共創の場形成支援」が創る“未来のありたい社会”（文部科学省）
- ⑬被災地から生まれる未来社会に向けた最新技術などの創造的復興（Creative Restoration）の発信（経済産業省、復興庁）
- ⑭スマート×グリーン技術の実証（農業）（農林水産省）
- ⑮スマート×グリーン技術の実証（林業）（林野庁）
- ⑯スマート×グリーン技術の実証（水産業）（水産庁）
- ⑰増大する食料需要等に応える代替肉・代替飼料などのフードテック事業創出の推進（農林水産省）
- ⑱月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発（農林水産省）
- ⑲「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたプロジェクト（農林水産省）
- ⑳知的財産の活用による社会課題解決の実現（経済産業省）
- ㉑万博会場を活用した未来思考の中小企業の魅力・価値の発信（経済産業省）
- ㉒Global Startup EXPO 2025（仮）（経済産業省）

No7 その他

- ①ウーマンズパビリオン出展事業（内閣府、経済産業省）
- ②いのち輝く未来社会「持続可能なまちづくり」の実現地方創生SDGs（日本版SDGsモデル）の国内外発信・展開（内閣府）
- ③テーマウィークプロジェクト（内閣官房国際博覧会推進本部事務局）
- ④大阪・関西万博を契機としたMICEの誘致・開催の推進（観光庁）
- ⑤大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの普及促進（内閣官房国際博覧会推進本部事務局、国土交通省）
- ⑥記念貨幣のシリーズ発行（財務省）

15. 公式キャラクター

- 2022年3月22日に最終選考委員会委員会が行われ、キャラクターデザインが決定。
- 2022年4月26日～5月16日に愛称の一般募集を実施（応募総数：33,197件）。
7月18日にキャラクター愛称選考委員会において審査を行い、同日に愛称「ミyakミyak」を発表。

キャラクターのデザイン



<キャラクタープロフィール>

出生地：関西のどこかにある小さな湧水地

性格：人懐っこいが、おちょこちょいでよくボカをする

特技：色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること

好きなこと：あらゆる生き物や物事と触れ合うこと

<キャラクターデザインの作者>

グループ名：mountain mountain

作者（代表者）：山下 浩平

生年：1971年

職業：デザイナー・絵本作家

キャラクターの愛称

「ミyakミyak」

<最優秀作品 受賞者>（2名からミyakミyakの応募あり）

氏名：川勝 未悠(かわかつ みゆう) 氏名：作田 陽向(さくだ ひなた)

○川勝さんのコンセプト

今まで「脈々」と受け継がれてきた私たち人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化。変幻自在なキャラクターは更にあらゆる可能性をその身に宿して、私たち人間の素晴らしさをこれからも「脈々」と未来に受け継いでいってくれるはず。そんな希望を込めて「脈々＝ミyakミyak」と名付けました。またミyak＝脈であり、生命そのもの。ミyakミyakという2音が続く様は、命が続いている音にも聞こえます。

○作田さんのコンセプト

初めてキャラクターを見たとき、赤色と青色が動脈と静脈を連想させたため。また、万博のテーマである、人類文明のつながりや、国際的なつながりを、「脈」という言葉で表せられると思ったため。

○選考委員 aikoさんからのコメント

選考委員に選んでいただいた時は飛び上がるくらい驚きました。関西人としてとても誇らしかったですし、キャラクターに命を吹き込む一員として愛と心をいっぱい込めて選考させていただきました。もはや友達のような気持ちです。大阪・関西万博を通じて多くの人が笑顔になりますように。おもしろい日々を素晴らしい未来をみんなでゲラゲラ笑いながら迎えたいです。

(参考) 万博関連グッズの販売 ; マスターライセンスオフィス (MLO)

- 公式ロゴマークや公式キャラクター等を使用した様々な商品の企画や制作、販売に向けて、知的財産を活用したライセンス事業を実施するため、「**2025MLO**」を**2022年12月12日に開設**。
- **ミyakumiyakuのぬいぐるみ、キーホルダー等様々な商品の製造・販売を行う事業者（サブライセンシー企業）を2022年12月14日から募集開始**。
- 本年4月12日より、キャラクターを使用した「公式ライセンス商品」の販売を開始。

サブライセンシー企業の募集について

<サブライセンシー企業とは>

公式ロゴマークや公式キャラクター、デザインシステム、呼称を使用して、契約したカテゴリーの商品を製造し、承認された流通経路において販売する企業。

<募集方法>

- ・「2025MLO」公式WEBサイト<https://expo2025mlo.jp>で応募様式のダウンロードが可能。
- ・応募様式に必要な事項を記載の上、「2025MLO」問合せ窓口info@expo2025mlo.jpへメールにて応募。

<販売グッズ>



<公式オンラインストア>

URL : <https://expo2025shop.jp>

16. 大阪・関西万博への参加

■ パビリオン出展

①各国パビリオン、②日本館、③テーマ館、④自治体館、⑤民間パビリオンとして出展。

※上記③の8名のプロデューサーが企画するテーマ事業の協賛。

■ 催事参加

万博会場内の大催事場、小催事場、メッセ等にて展示やイベントを実施。

※2023年度以降に募集を開始予定。

■ TEAM EXPO 2025

共創チャレンジや共創パートナーとしてTEAM EXPO 2025プログラムに参加。

※応募は随時募集中。

■ 会場整備・運営参加

万博会場の運営に必要な物品、役務、サービス等の協賛。

※2024年までに6回に分けて募集予定。

■ 営業参加

営業施設を万博会場内に出店、ロゴマークやキャラクターを活用したライセンスビジネスの実施。

■ 広報参加

広報プロモーションを実施するためのメディアやコンテンツ等の協賛や指定寄附。

※現在募集中。

■ テーマウィーク

テーマウィーク全体の協賛や、各プログラムへの協賛。

17. 催事関係（催事施設の配置）



※2023年度以降に主催者催事の協賛募集を開始し、2024年度に参加催事募集を開始予定。
 ※施設の規模や仕様は現時点の想定のため、今後変更となる場合がございます。また画像はイメージです。

18. 「TEAM EXPO 2025」プログラム

- 大阪・関西万博のテーマを実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指すプログラム。
- **共創チャレンジ1095件、共創パートナー300件**の登録あり（2023年4月末時点）。

共創チャレンジ (1095件)

自らが描く未来の実現に向けた1つ1つのアクション

分野を問わず、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動。

共創パートナー (300件)

複数の共創チャレンジの創出・支援をする法人・団体

それぞれが持つ強み（人的ネットワーク、人資源・ノウハウ、資金、フィールド、情報発信力など）を活かして、多様な共創チャレンジの創出・支援を担っていただく法人・団体等。

「TEAM EXPO 2025」プログラム ロゴマーク



活動に関連する用途に
限定し、ロゴマークを
無料で使用可能。



「TEAM EXPO 2025」プログラム 広報チラシ

(参考) 「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジ事例紹介

みんなで創る ばらの未来・まちの未来

- 2025年、広島県福山市で、世界最大のばらの国際会議である「第20回世界バラ会議福山大会2025」が開催される予定。
- 大阪・関西万博の会期中に開催されることから、両事業の連携を図る。



日本太鼓財団大阪府支部presents和太鼓 海祭

- 日本の伝統文化である和太鼓の認知を目的に、和太鼓演奏を披露し、元気と笑顔を届ける活動を実施。大阪・関西万博の機運醸成を目的に
- 和太鼓演奏を行う他、インターネットを活用して広く活動を展開予定。



イベント学会と地球産業文化研究所との共同による 共創チャレンジの創出

- イベント学会と地球産業文化研究所と博覧会協会が共同し、「歴史文化」「水と流域」「自然遺産」をテーマとする3つの共創チャレンジを推進。
- 愛・地球博が実現した「市民参加」の理念を継承し、大阪・関西万博の成功と万博の発展、万博による社会の持続可能な発展に貢献することを目的とする。



日本生まれのマインドスポーツ 「ペア碁」の普及と国際交流・親善活動

- 大阪・関西万博が開催される機会に、世界中の囲碁愛好家やトッププロ棋士たちが参加するペア碁ワールドカップの実施を予定。
- PGGP（ペア碁プロモーションパートナー約1500人）を活用した、ペア碁と万博の情報発信等も行い、ペア碁の国内外への普及と国際親善を目指す。



19. テーマウィーク

- 世界中の国々が半年間集う万博の特性を活かし、地球規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取組。テーマウィークとして実施されたのは、ドバイ万博が初めて。
- 1週間ごとに異なるテーマを設定し、解決策を話し合う「対話プログラム」と、具体的な行動のための「ビジネス交流」等を実施予定。（※各テーマの実施時期は、2023年秋頃に公表予定。）

分類	テーマ(ウィーク名)	テーマ（問い）
いのちを救う 人と地球上の生命を脅かす課題	地球の未来と生物多様性 ウィーク	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？
	健康とウェルビーイング ウィーク	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？
	平和と人権 ウィーク	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？
いのちに力を与える 誰もが幸福で豊かな生活を送るための課題	食と暮らしの未来 ウィーク	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？
	学びと遊び ウィーク	AI時代において人は何を学べば良いのか？
いのちをつなぐ 社会を豊かにするための課題	未来への文化共創 ウィーク	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？
	未来のコミュニティとモビリティウィーク	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？
いのち輝く未来社会のデザイン まとめ(最終週)	SDGs+Beyond いのち輝く未来社会 ウィーク	SDGsは達成できるか？ そして、その先はどうする？

(参考) 大阪・関西万博における建材リユースの促進

- サーキュラーエコノミーの実現を目指すべく、万博会場の「大屋根リング」については、万博閉会後解体し、地方公共団体・民間事業者等へ資材提供を検討中。

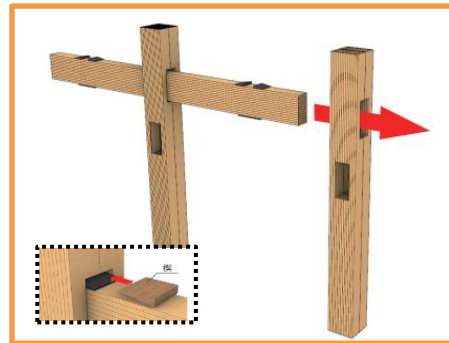
【提供内容案】

- **時期** : 2025年10月中旬～2027年2月末 (予定)
- **提供物** : 大屋根リングの柱・梁を単一部材に解体予定。
(※) 今後実施設計にて変更の可能性あり

(柱材) 欧州赤松 集成材 サイズ420mm×420mm× 約2～3 m、約8,900m³
(梁材) 国産杉、檜 集成材 サイズ420mm×210mm× 約1～5 m、約9,200m³
- **引渡し** : **【地方公共団体】**地域経済再生策に寄与することを条件に、無償譲渡が可能。
【民間事業者等】残存簿価を最低価格とした入札による有償売却。
※引渡しに係る移送費は、引取先負担を想定。

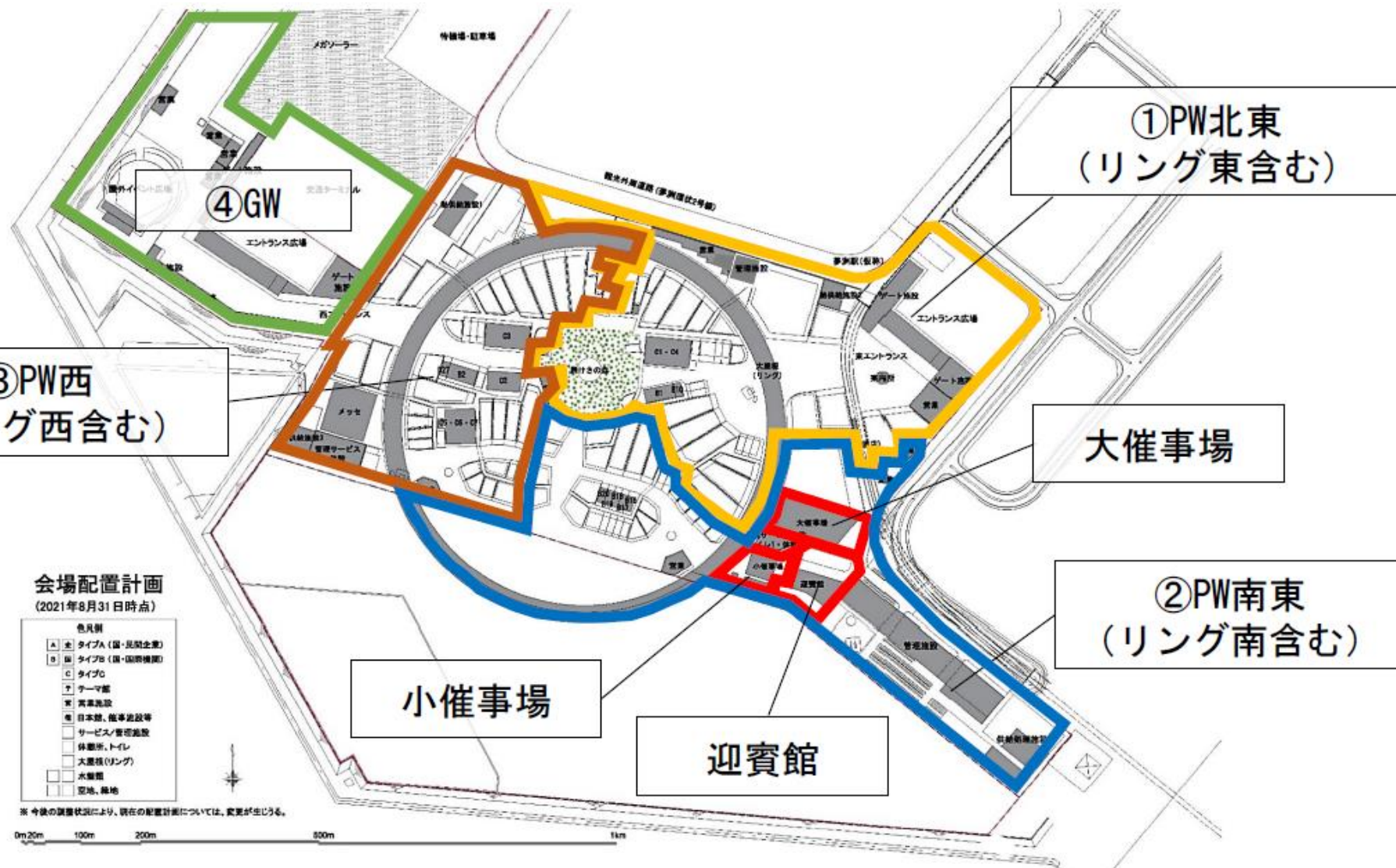
【連絡先】

- **2025年本国際博覧会協会 持続可能性部 TEL : 06-6625-8718**
(※) 大屋根リング以外のリユースにご関心のある方も上記窓口へ御連絡ください。



(参考) 万博会場の建築工事の工区割

- デザインビルド（設計・施工・撤去一括）方式で、2022年4月18日から順次公募を実施中。



(参考) プロデューサー

■会場デザイン・プロデューサー

		経歴等
藤本 壮介 (ふじもと そうすけ) 建築家 (1971年生まれ)		北海道出身。東京大学特任准教授。藤本壮介建築設計事務所主宰。 2000年 青森県立美術館設計競技2位（優秀賞） 2004年 日本建築家協会JIA新人賞 2008年 日本建築大賞受賞 2012年 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 金獅子賞

■会場運営プロデューサー

		経歴等
石川 勝 (いしかわ まさる) プランナー、プロデューサー (1963年生まれ)		北海道出身。株式会社シンク・コミュニケーションズ代表取締役。 2005年愛知博チーフプロデューサー補佐。 2008-2015 技術戦略マップ（コンテンツ分野）委員。 2007-2017 経産省デジタルコンテンツEXPO エグゼクティブプロデューサー。 2011年 クールジャパン事業（フランス）プロデューサー。

■催事企画プロデューサー

		経歴等
小橋 賢児 (こはしけんじ) (1979年生まれ)		東京都出身。The Human Miracle株式会社 代表取締役。 1988年～ 8歳で芸能界デビュー。以降数々のドラマや映画、舞台に出演。 2007年～「DON'T STOP」で映画監督デビュー(2012年) 2014年～ 世界最大級のエレクトロダンスミュージックフェスティバル 「ULTRA JAPAN(2014年-)」クリエイティブディレクター 2021年 「パラリンピック2020東京大会」閉会式・総合演出ディレクター。

(参考) アンバサダー

- 「大阪・関西万博の顔」として万博の魅力を伝えるため、博覧会協会は2020年2月に「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」を任命。



コブクロ
ミュージシャン



佐渡 裕
(さど ゆたか)
指揮者



ダウンタウン
タレント

宝塚歌劇団

©宝塚歌劇団



聖乃 あすか
(せいの あすか)



風間 柚乃
(かざま ゆの)



縣 千
(あがた せん)



極美 慎
(きわみ しん)



風色 日向
(かぜいろ ひゅうが)



松本 幸四郎
(まつもと こうしろう)
歌舞伎俳優



山中 伸弥
(やまなか しんや)
京都大学iPS細胞研究所 教授、
公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団 理事長

(参考) シニアアドバイザー



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



**ロバート
キャンベル**
早稲田大学特命教授



**コシノ
ジュンコ**
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学 前学長／
全学研究機構長
人間環境デザインプログラム教授



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

(参考) 大阪・関西万博 国際企画会議 (IPM) 開催について

- 2022年10月25日～26日、博覧会協会が各国代表・実務者を招き、国際企画会議 (International Planning Meeting) を大阪にて開催。**100か国・5国際機関から約240名が参加**し、パビリオン建設などへの準備について説明を受けた他、夢洲会場の視察や、同協会や建設事業者との個別相談会を実施した。
- 2023年6月6日には、**日本側でパビリオン建設を行う国を対象に**開催。**86か国と5国際機関から約190名が参加**し、途上国支援プログラムなどについて説明を受けた。
- **2023年の秋**には、公式参加国・国際機関を対象に、国際参加国会議 (International Participants Meeting) を行う予定。

<会議の主な内容>

◆2022年10月25日 (火)

- ・セッション1日目 (テーマウィーク、バーチャル万博、ナショナルデー、宿舍等)
- ・参加契約署名式、ウェルカムディナー

◆2022年10月26日 (水)

- ・セッション2日目 (パビリオン建設、途上国支援等)
- ・夢洲会場視察、閉会昼食会

◆2023年6月6日 (火)

- ・セッション (出展準備スケジュール、テーマウィーク、ナショナルデー、宿舍、途上国支援等)
- ・夕食会

◆2023年6月7日 (水)

- ・夢洲会場視察
- ・展示内装事業者とのマッチング

【各国代表者との記念写真】



(2022年10月)



(2023年6月)

(参考) 大阪・関西万博の起工式の実施について

- 大阪・関西万博の開幕 2 年前となる本年 4月13日（木）、万博会場予定地にて起工式を開催した。
- 岸田総理大臣、西村経産大臣、岡田万博担当大臣ほか約250名に出席頂き、鍬入れを行った。
- 式典では、岸田総理大臣より、①秋篠宮皇嗣殿下に2025年日本国際博覧会の名誉総裁にご就任いただくこと、②大阪・関西万博の記念貨幣発行について発表を行った。また、細田衆議院議長・尾辻参議院議長をはじめとする多数の方から祝電を頂戴した。

岸田総理大臣



西村経済産業大臣



岡田万博担当大臣



鍬入れの様子



(参考) 地方連携に向けた取組

- 2022年7月に開催された全国知事会（会長；平井 伸治 鳥取県知事）において、大阪・関西万博に向けて都道府県が一致団結して機運を高めていくとした決議を採択。
- 2021年11月、万博首長連合（会長：澤井 宏文 松原市長）が、全国の機運醸成等を目的として設立。万博や地方創生についての情報発信やセミナーを実施。
- 2023年2月、第1回大阪・関西万博推進本部会議を開催。各自治体それぞれが実施する取組みについて紹介。

■全国知事会の取組

- ✓ 全国知事会に「大阪・関西万博推進本部」を設置。
本部長：平井鳥取県知事、副本部長：吉村大阪府知事
- ✓ 全都道府県庁に万博開幕へのカウントダウンボードを設置。



■万博首長連合の取組

- ✓ 万博の3つのサブテーマ（いのちに力を与える、いのちをつなぐ、いのちを救う）を基に、ワーキンググループを立ち上げ。
- ✓ 参加自治体で情報交換・議論を行い、プロジェクトを検討中。

万博首長連合 体制（役員）

会長代行	田中 幹夫	南砺市長
副会長	立谷 秀清	相馬市長
	古口 達也	茂木町長
	滝沢 亮	三条市長
	末松 則子	鈴鹿市長
	千代松 大耕	泉佐野市長
	西村 和平	加西市長
	長野 恭紘	別府市長
監査役	高橋 邦芳	村上市長

(参考) 大阪・関西万博記念自動車プレート

- 全国的な機運醸成を図る観点から、大阪・関西万博特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレートを期間限定（2025年までの間）で全国の希望者に交付。
- ナンバープレートは寄付金(1,000円以上)の有無で2種類準備。
- 交付金額は全国平均で8,413円、大阪地区の場合は8,400円。（中板2枚1組）
- 交付期間：2022年10月24日（月）～2025年12月26日（金）

	登録自動車（自家用）	登録自動車（事業用）	軽自動車（自家用）
フルカラー版 （寄付金あり）			
モノトーン版 （寄付金なし）			

(参考) 大阪・関西万博 記念貨幣

- 大阪・関西万博を記念して、開催までに3回に分けて記念貨幣が発行される予定。
- 第一次発行分として、**千円銀貨幣**を5万枚発行し、価格は13,800円（税込）。※
- 裏面は、虹色発色加工(溝を微細に加工し、見る角度によって発色が変わる)を用いてデザイン。
- (第一次発行分) **申込受付期間：2023年8月8日から3週間程度。**

【表面】



(ロゴマークと万博会場)

【裏面】



(ロゴマーク)



※素材に貴金属を使用し、光沢を持たせるなど特殊な技術を用いて製造するため、貨幣の製造に要する費用が額面価格を上回るもの。

(参考) 博覧会協会の最新の体制

2019年1月30日

法人設立

2019年4月19日

万博特別措置法成立

2019年5月31日

経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行う法人に指定

2019年10月21日

内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」となる

〇人員

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県

市・経済界等より職員を派遣 (約650名)

【事務局組織図】

